

肺がん検診について

肺がんはここ数十年で急増しています。肺がんを引き起こす最も大きな原因は喫煙です。男性の肺がんの7割近くは喫煙によるものです。喫煙者（毎日20本以上吸う人）の妻の肺がん死亡率は非喫煙者の妻の2倍だといわれています。

肺がんは自覚症状がほとんどないため、気づいた時には手遅れである場合もありますが、早期発見できれば、治る確率も高くなります。そのため、1年に1回の検診をおすすめいたします。

対象者

集団検診

15歳以上の市民の方（今年度中に15歳になられる方を含む）で、お勤め先等で肺がん検診を受ける機会がない方

個別検診

40歳以上の市民の方（今年度中に40歳になられる方を含む）で、お勤め先等で肺がん検診を受ける機会がない方

注意事項（集団・個別共通）

※肺疾患の治療中・経過観察中の方は対象となりません。（疾病の早期発見のための検診です。）

※会社等の検診・被扶養者検診で同等の検診を受ける機会がある方は対象外です。会社等の検診を受診してください。

※肺疾患の既往歴がある方、以前精密検査と診断された方は個別検診をお勧めしております。集団検診では、前回の検診結果を考慮した判定ではありません。そのため、既往歴がある方、以前精密検査となった方は同症状で精密検査となる可能性があります。

実施期間

集団検診：日時指定で行われます。詳しくは「令和7年度がん検診のご案内」をご覧ください。

個別検診：6月～10月

受診回数

集団検診または個別検診のどちらかを
1年度（4月～翌年3月）に1回。

検診内容

問診及び胸部エックス線撮影を行います。

喀痰検査は、集団検診では希望者のみ行います。

個別検診では、年齢50歳以上で喫煙指数600以上の方、その他職業性など、高危険群と考えられる方が実施出来ます。

検診料(自己負担金)

集団検診：無料(喀痰検査を希望される方は別途300円がかかります。)

個別検診：無料(喀痰検査を希望される方は別途300円がかかります。)

※検診の結果、精密検査が必要となった場合、検査費・治療費等は別途費用が発生しますので、ご了承ください。

※がん検診の検診料(自己負担金)が免除される制度があります。
詳しくは「自己負担金免除制度について」をご覧ください。